

事業番号	11 03 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検		
事業名	安全・安心な道路環境対策事業	部局	建設部	課・室	道路管理課	
		実施期間	S30 ~	E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加					
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造 3-7 先端技術の積極的な活用・導入		4-4 生命・生活リスクの軽減			

### 1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路施設の状況を把握し、計画的及び日常の補修を効率的に行い、既存施設を有効に活用し快適な道路環境の確保を図る。</li> <li>○長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネル等道路施設の修繕を行い適切な維持管理を図る。</li> <li>○適正な除雪体制を整え、効率・経済的な除融雪を行うとともに防雪・消雪対策により、冬期間の安全・円滑な道路交通の確保を図る。</li> <li>○緊急輸送道路や、景観を重視する観光地等において障害となる電柱をなくすため、範囲を決め計画的に無電柱化を推進する。</li> <li>○落石等災害の危険性が高い箇所について、落石防護柵などの防災対策施設を整備し、道路災害の発生を未然に防止する。</li> <li>○通学中の児童等の交通事故をなくし、安全に暮らせるための交通環境の実現を目指す。</li> </ul>	
これまでの取組	○舗装修繕、橋梁修繕、交通安全対策、標識整備、除雪、スノーシェッド整備、電線類地中化、落石対策などを実施	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の確保	定期的に道路施設の点検を実施し、長寿命化修繕計画に基づく予防的な修繕を行うことにより維持管理費用の縮減を図る。

### 2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<p><b>【9月補正】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年8月の豪雨等により被害を受けた、災害復旧事業の対象とならない緊急を要する箇所について、対策・復旧工事等を行い、安全で安心な県土の回復と強靱化を図る。</li> <li>・道路舗装面が著しく損傷している緊急輸送路や生活路線等について、緊急的に舗装修繕工事を実施し、通行車両や近隣住民の安全・安心を確保する。</li> </ul> <p><b>【11月補正】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で快適な道路環境の確保</li> </ul> <p>春夏の観光シーズンに向け、除雪等により不鮮明となった道路の区画線等の塗り替え、冬季の凍結等により劣化した道路舗装の修繕等を速やかに実施するため、債務負担行為を設定する。</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	早期に対応が必要な橋梁の修繕実施箇所数	橋	222/264 (84.1%)	↑	237/264 (89.8%)	↑	223/987 (22.6%)	703/987 (71.2%)	前年度繰越	15,647,147	21,010,784	13,875,429
2	H24通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数	箇所	485/546 (88.8%)	↑	496/546 (90.8%)	↑	518/546 (94.9%)	546/546 (100%)	当初予算	29,772,685	21,734,857	21,791,405
3	R3通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数	箇所		-		-		443/629 (70.4%)	補正予算	12,388,768	13,365,035	1,446,670
4									合計(A)	57,808,600	56,110,676	37,113,504
5									うち一般財源	11,309,778	14,320,071	8,188,366
									決算額(B)	36,425,697	42,218,113	
									職員数(人)	206.3	206.3	206.3
設定理由	成果指	1.安全・安心な交通を確保するため、令和2年度に見直した橋梁長寿命化修繕計画に基づく「ランクⅢ、Ⅳ橋梁」の修繕着手率を成果指標に設定。 2.通学中の児童等の事故をなくすため、平成24年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所の完了数を成果指標に設定。 3.通学中の児童等の事故をなくすため、令和3年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所の完了数を成果指標に設定。										
	目標値	1.橋梁長寿命化修繕計画において、令和6年度までに987橋を修繕することとしている。計画3年目である令和4年度は703橋(着手率71.2%)の着手を目指す。 2.平成24年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所について、令和4年度中に全箇所の対策を完了する。 3.令和3年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所について、用地補償や物件補償を伴わない補修や即効性の高い対策箇所(443箇所)を令和4年度末までに完了する。用地買収や物件補償を伴う歩道整備等は、できる限り早期の完了を目指し、整備に時間を要する箇所は路面標示等即効性の高い対策を当面実施する。(186箇所)										

事業番号	11 03 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	安全・安心な道路環境対策事業			部局	建設部	課・室	道路管理課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 当初予算	
1	舗装補修費、橋梁補修費、除雪費、交通安全施設費、道路橋梁維持修繕費、県単道路防災費他	42,161,453 千円	35,099,892 千円	当初 補正	21,791,405 1,446,670 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	舗装補修工事	直接	大規模な劣化箇所の補修工事を実施する。
2	橋梁補修事業	直接	橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、緊急性の高い橋梁等について、補修設計、修繕及び架替工事を行う。
3	災害防除道路事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置工事を行う。
4	雪寒対策道路事業	直接	スノーシェッド・堆雪帯等の設置工事を行う。
5	除雪事業	直接	県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業を実施する。
6	交通安全施設事業	直接	歩道の整備、交差点改良、道路情報板の設置工事を行う。 道の駅の駐車場整備、トイレの改修を実施する。
7	電線共同溝整備事業	直接	電線共同溝の設置工事を行う。
8	雪寒地域建設機械整備事業	直接	雪寒地域内の除融雪機械の購入の実施。
9	道路橋梁維持修繕事業	直接	県内一円において、橋梁の比較的小規模な工事や、緊急の修繕工事を実施する。 県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業を実施する。 9月補正における実施箇所123箇所
10	県単道路舗装事業	直接	県内一円において、凍結深さに対応していない旧舗装構造の箇所を凍結に対応した舗装構造へと改築する。 電線共同溝の設置に伴う設計や付帯工事を実施する。
11	県単交通安全対策事業	直接	歩道の整備、防護柵の設置、標識の設置を行う。
12	県単道路防災事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行う。